令和６年度　放課後等デイサービス自己評価表（事業者向け）

		チェック項目	はい	いいえ	非該当	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員（20名）に対して、訓練室等の広さは適切であるか	8			
	2	利用児童に対して、職員の配置数は適切であるか（児童5：職員1の基準を満たしているか）	8			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	8			
業務改善	4	業務改善を進めるための会議等に参画しているか	6		2	
	5	保護者向けアンケート調査を実施して保護者の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7		1	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7		1	
	7	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8			・外部の研修だけでなく、内部の研修（月1回以上）も実施している。
適切な支援の提供	8	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7		1	
	9	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7		1	・児童の状況に合わせて、集団活動や個別活動の内容を決めて工夫している。
	10	平日、休日、長期休暇に応じて、支援しているか	7		1	
	11	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて支援しているか	7		1	
	12	支援開始前に行われる支援の内容や役割分担等について確認しているか	6		2	・支援開始前にいない時が多い。 ・後から支援に入る職員にはホワイトボード等で伝えている。 ・支援前にいる職員で打ち合わせを行い、ホワイトボードを活用して全員に共有している。
	13	支援終了後には、職員間で打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8			・ラインワークスを活用し、情報を共有している。 ・対面で打ち合わせを行う他、ラインワークスで全員に共有している。
	14	日々の支援に関して正しく記録をとっているか	7		1	
関係機関や保護者との連携	15	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	7		1	
	16	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、連携がとれているか	7		1	
保護者への説明責任等	17	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言と支援を行えているか	7		1	
	18	子どもや保護者からの苦情について、迅速かつ適切に対応しているか	7		1	
	19	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7		1	・年4回の会報と週1回のブログで発信を行っている。
	20	個人情報に十分注意しているか	7		1	
	21	各児童や保護者に応じた情報伝達のための配慮をしているか	7		1	
非常時	22	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定しているか	7		1	
	23	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7		1	
	24	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7		1	

等の対応	25	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、保護者に事前に十分に説明し、了解を得ているか	6		2	・そういった事例をまだ経験していない。 ・現在、該当児童はいないが必要時には説明を行い了解を得ている。
	26	食物アレルギーのある子どもについて、対応がされているか	7		1	
	27	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8			

社会福祉法人すぎのこ会　のあの杜
公表：令和６年３月３日（月）
回答数：８

【考察】
・支援開始前の打ち合わせを行った際、事務所のホワイトボードに記入し、打ち合わせに参加していない職員にもしっかり伝わるような対策を取っていきたいと思う。
・今年度は、集団活動と個別活動において両方別々のプログラムを行ってきたが、同じような内容になってしまった部分もあった。来年度は担当職員を分け、それぞれプログラムを集団活動と個別活動に分けて立案し支援していきたい。